

第9期（令和5年度）

# 総会議案書

日時 令和6年2月4日（日）  
午後13時00分

場所 竹町公民館

農事組合法人 竹町農業生産組合

# 第9期 総会議案書

## 次第

1. 開会の辞
2. 代表理事挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事録署名人指名
6. 書記指名

## 7. 議事

議・第1号 第9期事業年度事業報告（案）について

議・第2号 第9期事業年度（令和5年度）決算・剰余金処分（案）について

議・第3号 第10期事業年度（令和6年度）事業計画（案）について

議・第4号 第10期事業年度（令和6年度）予算（案）について

議・第5号 任期満了に伴う役員改選について

## 8. その他

## 9. 閉会の辞

## 議・第1号 第9期事業年度（令和5年度）事業報告について

当組合は令和元年度に、新たな役員体制を基に、法人組織をいかに安定的に運営し、健全経営が保てるかを経営方針として事業を推進して参りました。令和5年度はその5年目に当たり、また法人としては役員任期3期目の最終年度(3年目)として迎えた年度でした。

1月29日に令和4年度の総会を終えましたが、新型コロナウイルスの蔓延防止の観点から書面議決を行っております。その後、5月には新型コロナも5類感染症に移行し、コロナ禍以前の社会情勢に戻りつつあります。しかしながら、長引くロシアによるウクライナ侵攻、新たにイスラエルとハマスの内戦が勃発した影響等により、農業資材や燃料、食料品などの物価高騰が進み、流通・運輸においても不安定な状況にさらされております。

さらには異常気象である地球温暖化に、農業の主要生産物である米作が6俵/10aしか収穫出来ないなど、大きな影響を受けております。さらに、米価もコメ消費の減少や大幅なコメ余りが起こるなど、上昇する気配はありません。

このような状況を踏まえ、今期(R5年)からは、米作から小麦を多めに作付け(40%から50%)することに変更しました。麦作は面積と収量が増加した結果、国からの補助金は計画以上の良好な結果となりましたので、来期も同程度で実施していく予定であります。一方、野菜のキャベツへの取り組みについては、担い手が見つからず、今期も取り組むことができませんでした。麦跡作付けは例年どおり大豆・そばの取り組みを行い、それなりの成果が得られました。

一方、生産組合での耕作者(担い手)が高齢化し、体力的に耕作ができない者が増えている状況にあります。これにつきましては、新しい担い手である認定農家さんに耕作田をスムーズに移管出来る様進めて参ります。

いずれにしても、農業を取り巻く現状は、米価の下落、担い手の問題、農業資材、燃料の高騰等大変厳しい状況にあることを認識していただきたいことを含めて報告とさせていただきます。

なお、個別の報告については、それぞれ各部門から報告をさせていただきます。

## 第9期（令和5年度）決算概要について（総務部）

### 1. 令和4年度決算概要と過去の変遷

本年度決算と過去の変遷

（単位：千円）

事業年度		第4期 H30年度	第5期 R1年度	第6期 R2年度	第7期 R3年度	第8期 R4年度	第9期 R5年度
栽培作物	水稲	89.8反	123.2反	127.6反	35.5反	51.5反	20.3反
	小麦	114.3反	114.1反	108.0反	103.2反	125.2反	157.5反
	大豆	40.2反	63.3反	51.9反	41.6反	47.4反	57.6反
	黒豆	5.4反	8.1反	13.9反	15.5反	19.1反	22.1反
	ソバ	67.5反	36.4反	43.1反	36.3反	43.4反	47.8反
経営面積		318.4反	347.1反	344.5反	232.0反	286.8反	305.3反
売上		9,445	12,396	14,853	7,114	10,364	7,657
製造原価・管理費		13,398	16,259	17,005	12,187	15,811	15,747
営業利益		-4,366	-3,873	-2,588	-5,074	-5,448	-8,091
営業外収益 (補助金等)		11,047	12,976	15,234	13,660	13,444	17,916
経常利益		6,679	9,101	12,600	8,585	7,996	9,823
経常利益／反		21	26	37	37	28	32
経営基盤強化準備金		1,500	1,500	0	0	0	0
利益準備金		600	750	1250	860	880	1020
経営基盤強化準備金 の取り崩し						1,000	500
従事分量配当		4,350	6,500	10,200	7,400	8,000	9,000

### 本年度決算の概要

本年度（第9期）につきましては、上表の通り減収となり営業利益は赤字拡大となるも補助金が増え経常利益は横這いという結果になっております。これは主力作物である小麦の収量が増え売上が伸びたものの、他の作物の売り上げが落ちて減収となっております。また、売上に対して肥料、農薬等の諸資材がウクライナ侵攻や円安等の外部要因によって高騰し、昨年以上に製造原価率が上がり、営業赤字が拡大する結果となりました。

一方、営業外収益としての補助金は、小麦の栽培面積増と収量が増えたことにより、面積払い、数量払いともに増加し、昨年度より約450万円の収入増となりました。

この結果、経常利益としては昨年度より180万円ほど増えております。しかしながら、作物別に見てみますと、水稲の経常利益は昨年度より更に悪化し、過年度分の精算金を差し引くと単年度では大幅な赤字となっております。昨年度は経営基盤強化準備金を取り崩し、これに補填しましたが、今年度も一部取り崩しを行うとともに他の作物全体から補填し標準労賃の80%を支給することに致しました。

## 2. 作物別の作柄と収支の概要（総務部）

小麦、水稲、ソバの前年度比較（税抜）

単位：千円

年 度	令和4年度			令和5年度		
	小麦	水稲	ソバ	小麦	水稲	ソバ
経営面積	125.2 反	51.5 反	43.4 反	157.5 反	20.3 反	47.8 反
収穫量	39,183kg	17,793kg	3,037kg	64,796kg	7,947kg	2,610kg
収穫量/10a	313kg	5.8 俵	70.0kg	412kg	6.5 俵	54.6kg
※JA 販売手数料 売 上	(手数料込み) 2,110	(手数料込み) 4,486	506	(手数料込み) 2,993	(手数料込み) 1,852	435
製造原価・管理費	7,734	4,263	604	9,181	1,994	658
営業利益	-5,625	223	-98	-6,189	-142	-223
営業外収益：補助金等	9,099	49	562	12,437	76	620
経常利益	3,474	287	463	6,248	-66	397
経常利益/10a	27,748 円	5,573 円	10,691 円	39,670 円	-3,232 円	8,304 円
総収入/10a	89,524 円	88,058 円	24,633 円	97,968 円	94,835 円	22,073 円
材料費/10a	19,630 円	31,051 円	3,479 円	17,850 円	51,352 円	3,532 円
材料費/総収入	21.9%	35.2%	14.1%	18.2%	54.1%	16.0%
費用合計/総収入	69.0%	94.0%	56.6%	59.5%	103.4%	62.4%

### 1) 作物別作柄と収支（総務部）

本年度の作柄は、10a 当たりで見ると小麦は大幅な増収、水稲はやや増収、ソバは減収という結果になりました。

各々の作物については

- ◆小麦：10a 当たりの収量増とウクライナ情勢に伴う小麦単価が2年連続で上昇（令和3年～5年：23 円/kg⇒34.4 円/kg⇒36.4 円/kg）したことにより、売上は約40%増となりました。また10a 当たりの経常利益は反収増で数量払いの補助金が上がったことと水田活用直接支払の新制度「畑作物産地形成促進：4 万円/10a」への申請が功を奏し補助金が増額となり、10a 当たり9.4%の増収、経常利益では43%の増益となっております。
- ◆水稲：水稲の作柄は前年度よりやや良化しましたが、ウクライナ侵攻や円安の影響により肥料、農薬等の材料費が前年比約65%上昇し、その結果、経常利益は激減しております。また、この経常利益の中には、令和3年度の調整金（145,000 円）が含まれており、単年度の経常利益は実質21万円の赤字となります。

本年度の従事分量配当は、赤字になった場合の運用規定により、標準労賃の80%を支給することにしていきますので、この金額は約39万円となり、これに経常利益の実質赤字分約21万円を加えますと補填額は約60万円となります。

この金額の補填については、昨年と同様、経営基盤準備金を取り崩してこれに当てるように致しました。

- ◆ソバ：前年度の70kg/10aを標準収量とすると、数量面で今年度はやや不作となります。  
また、等級についても前年度は全量1等でしたが、本年度は1等：約30%、2等：約70%となり、等級面でも不作という結果になります。  
ソバの数量払い補助金は3月に交付されますが、この結果から試算すると292千円となります。

## 2) 本年度決算の課題（総務部）

本年度も最大の問題は、**水稻の赤字決算**ということになります。  
赤字の原因は何かを明らかにすることと、来年度以降どうなるかを推定するために下表を作成しました。

水稻 10a 当りの損益計算結果（税抜き） 単位：円

年 度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均反収	7.2俵	7.3俵	6.1俵	5.8俵	6.4俵
売上（過年度精算金除外）	88,103	90,931	96,059	73,430	83,938
材料費	24,708	22,503	32,154	31,051	51,352
生産経費 （地代、農機賃料、水利費）	40,912	41,726	42,829	37,725	31,442
製造原価	65,620	64,228	74,984	68,777	82,794
販売・一般管理費	1,289	1,216	42	1,127	1,237
営業利益	18,320	18,899	3,913	-1,777	-7,227
雑収入（補助金）	2,878	2,711	5,758	959	3,751
経常利益	21,197	21,611	9,671	-818	-3,476

※売上は過年度の精算金を除いたもので、純粹に単年度の売上になる。

この表は令和1年度～5年度の10a当りの損益計算結果で、令和3年度以降年々収益が悪化しています。収益悪化の要因は次のように整理出来ます。

- 1) 10a当りの収穫量が減少した結果、売上が減った。（令和4年度、5年度：気候変動の影響か）
- 2) 製造原価、特に肥料・農薬等の材料費が令和5年度に高騰した。  
（ウクライナ侵攻と、円安の影響）

経常利益の低下は令和3年度から始まり、昨年度は赤字、本年度は赤字が更に拡大しています。原因が気候変動と、円安の影響であるかぎり、生産者の努力では何ともしがたく、来年度もこの傾向は続くものと思われま。

## 3) 作物別栽培経過

### ◆小麦（転作部）

今年度は、米の価格が上がらないことから、約158反（全圃場の51%）の作付けを行いました。施肥については昨年同様、省力体系に取り組みましたが、結果は、反当たり412Kgと過去最高の出来となり、数量払い補助金も前年比156%と過去最高となりました。

要因としては、

- ①元肥がしっかりと撒けたことにより、麦の出来が良かった。
- ②一部排水が悪い圃場があったが平均すれば良かった。

但し、麦タゲの防除は、今の生産組合の現状では無理な状況です。

#### ◆水稲（営農部）

令和5年産については、みずかがみ・コシヒカリ・キヌヒカリ・ゆめおうみ・秋の詩の5品種を作付けしました。

7月以降の気温が高く、収穫期は平年よりも早かった。

高い気温と「いもち病」や「ウンカ類」の影響により収量・品質共に悪かった。

#### ◆ソバ（船橋雄平班）

##### ○収穫量の推移

	等級	収穫量(kg)	面積(a)	反当収量(kg)
2017(H.29)年度		450.0	137.8	33.0
2018(H.30)年度		1732.5	675.1	25.7
2019(R.01)年度	1等	1732.5	364.4	47.5
2020(R.02)年度	1等	5287.5	430.7	122.8
2021(R.03)年度	2等	945.0	363.1	26.0
2022(R.04)年度	1等	3037.5	433.5	70.0
2023(R.05)年度	1等	810.0	477.8	54.6
	2等	1800.0		

##### ○作業の概要

- 1) 播種前に、1回畦畔の草刈り、2回の圃場の平耕起を実施した。
- 2) 播種作業の軽減を図るため、元肥(有機アグレット)を反当り 11.3kg ブロードキャスターで散布した。
- 3) 播種は、反当り 5.58kg。同時に排水溝付け作業を実施した。
- 4) 播種後、圃場周囲の除草作業を2回実施した。(8月下旬、10月上旬)
- 5) 10月24・25日に、竜王そば振興会により収穫作業が実施された。

##### ○総括

- 1) 今年は台風もなく、多収量を期待したが、播種後の雨天の影響を受けたようである。播種に4日を要したが、後ほど発芽状態が悪かったようである。
- 2) 草深筋で排水が不十分なところがあり、その部分については生育不良が見られた。
- 3) 竜王そば振興会による収穫作業が例年より早かったが、収量への影響は少なかったようにみえる。
- 4) 夫婦輪 985 の圃場については、隣接する 986 の圃場が水稲栽培で畔越しして水が侵入する状態もあり、平耕起も播種もできなかった。また、同圃場の除草も手作業でする必要に迫られた。

## 大豆、黒豆の生産推移（税抜）

単位：千円

年 度	大豆			黒豆		
	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度	R4年度
経営面積	51.9反	41.6反	47.4反	13.9反	15.5反	19.1反
収穫量	6,570kg	8,233kg	4,460kg	592kg	2,040kg	1,508kg
収穫量/10a	126.6kg	197.9kg	94.0kg	42.6kg	131.8kg	79.0kg
※参考：市内基準反収	162kg	162kg	162kg			
売上	1,250	1,269	951	534	1,956	1,426
製造原価・管理費	1,917	1,515	2010	368	531	586
営業利益	-667	-246	-1059	166	142	840
営業外収益：補助金等	1821	2042	1499	247	218	229
経常利益	1,737	1,797	440	413	1,643	1,069
経常利益/反	33	43	9	30	106	56.0

上記の結果は、昨年度の収支結果と本年度の結果を合算して、1年間の損益を算出したもの。  
令和5年度植え付け分については、まだ収量も売上額も結果が出ていないため、上表には入れず。  
令和4年産大豆については、反収前年比53%ダウンとなり売上が減少、残念ながら数量払いも確保出来なかった。  
黒豆も反収が前年比40%ダウンとなり減収減益となる。

## ◆大豆：今年度の状況（荒川雅男班）

- ・麦後の天候芳しくない中で耕起、播種は梅雨明けの7月半ばとなった。
- ・その後は天候に恵まれ例年に比べ草も少なく推移した。
- ・七月後半に播種となったところは少し草に負けた。
- ・収量、品質共にそこそこか。

やはり天気によって左右される時期のため根本的にやり方を考える必要があると思います。  
来年はもっといいものを作りたい。

## ◆黒豆：今年度の状況（荒川雅男班）

- ・大豆に先駆け黒豆の播種時期を6月末までと設定し、その通りの日程で6/29頃までに播種はできた。
- ・ただ播種時期に雨が多く土壌に水分が多く発芽率はよくなかった。
- ・品種の特性上、出芽率は大豆ほど高くなく種の撒きなおしも人力が必要。  
(補植用に1列密植にして移植するのも一考か。播種後約10日で新芽が顔を出す)
- ・圃場による出来不出来というのか草に負けた。
- ・夏の高温なのか、草なのか粒張りが全体的に小さい。
- ・草のせい刈り取りに相当苦労いただいた。今後は機械刈りも検討するといいいのか。

議・第2号 第9期事業年度（令和5年度）決算・剰余金処分（案）について

貸借対照表

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

代表者 北川 誠次

令和5年12月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産	( 34,670,445 )	I 流 動 負 債	( 8,549,829 )
現 金 及 び 預 金	29,085,699	買 掛 金	3,828,539
未 収 金	10,480	未 払 金	4,414,290
棚 卸 資 産	3,904,491	未 払 法 人 税 等	307,000
抛 出 金 積 立 金	281,800		
未 収 入 金	1,387,975		
II 固 定 資 産	( 631,703 )	II 固 定 負 債	( 2,738,217 )
有 形 固 定 資 産	( 291,703 )	出 資 預 り 金	880,000
機 械 及 び 装 置	291,703	長 期 借 入 金	358,217
		農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	1,500,000
無 形 固 定 資 産	( 0 )		
		負 債 の 部 合 計	11,288,046
		( 純 資 産 の 部 )	
投 資 そ の 他 の 資 産	( 340,000 )	I 資 本	( 24,014,102 )
出 資	100,000	1. 出 資 金	9,217,000
長 期 前 払 費 用	240,000	2. 資 本 剰 余 金	( 0 )
		3. 利 益 剰 余 金	( 14,797,102 )
		(1) 利 益 準 備 金	4,650,000
		(2) そ の 他 利 益 剰 余 金	( 10,147,102 )
		繰 越 利 益 剰 余 金	10,147,102
III 繰 延 資 産	( 0 )		
		純 資 産 の 部 合 計	24,014,102
資 産 の 部 合 計	35,302,148	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	35,302,148

# 損 益 計 算 書

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

令和 5 年 1 月 1 日から  
令和 5 年 12 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売 上 高 農 産 物 売 上	7,656,525	7,656,525	7,656,525
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 高 当 期 農 業 原 価 合 期 末 棚 卸 損 売 上 総 損 失		0 14,433,985 14,433,985 0	14,433,985 6,777,460
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 営 業 損 失		1,315,456	1,315,456 8,092,916
IV 営 業 外 収 益 受 取 配 当 金 雑 収 入		301 1,000 17,914,917	17,916,218
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息		716	716
経 常 利 益			9,822,586
VI 特 別 利 益 農 業 基 盤 強 化 準 備 金 戻 入		500,000	500,000
VII 特 別 損 失			
税 引 前 当 期 純 利 益			10,322,586
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		307,248	307,248
当 期 純 利 益			10,015,338
繰 越 利 益 剰 余 金		131,764	
繰 越 利 益 剰 余 金 期 末 残 高			10,147,102

## 剰 余 金 処 分 案

(単位：円)


I 当期末処分利益		10,147,102
II 任意積立金取崩額		
		0
計		10,147,102
III 利益処分額		
従事分量配当金	9,000,000	
利益準備金	1,050,000	
		10,050,000
IV 次期繰越利益		97,102

以上のとおり提出する。

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

代表理事 北川 誠次 	理	事	奥田 徹 
	理	事	荒川 敏和 
	理	事	船橋 雄平 
	理	事	川橋 幸己 

監査の結果、貸借対照表、損益計算書および損失処理について、いずれも適法かつ正確であることを認める。

監 事 荒川 雅男 	監	事	小西 信弘 
-----------------------------------------------------------------------------------------------	---	---	---------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 竹町農業生産組合 損益計算書

2023年12月11日

令和5年度実績

		総合	共通	水稻	小麦	大豆 R4年産	大豆 R5年産	黒豆 R4年産	黒豆 R5年産	ソバ R4年産	ソバ R5年産
経営面積		305.33反		20.33反	157.50反	47.44反	57.61反	19.10反	22.11反	43.35反	47.78反
収穫量（本年度：水稻はくず米除く）		供出米：2,907kg		7,947kg	64,796kg	4,460kg		-	-	3,037kg	2,610kg
単位収量		自家消費米：5,040kg		(6.52俵/反)	411.6kg/反	(94.0kg/反)				70.0kg	54.6kg
収穫量（前年度）				(17,793kg)	(39,183kg)			(kg)	(kg)	(945kg)	(3,037kg)
単位収量				(5.76俵/反)	(313kg/反)					(26.0kg/反)	(70.0kg/反)
A	売上	7,656,525円		1,851,737円	2,993,154円	950,685円	0円	1,425,949円		0円	435,000円
	売上合計	7,656,525円	0円	1,851,737円	2,993,154円	950,685円	0円	1,425,949円	0円	0円	435,000円
	①種苗費/諸材料費	1,172,824円		276,714円	472,245円	279,545円		91,722円			52,598円
	②肥料費/農薬費	4,495,742円		767,274円	2,339,241円	999,562円		217,556円			172,109円
	③仕入値戻し	-55,935円									-55,935円
	ア 材料費 計 (①~④)	5,612,631円	0円	1,043,988円	2,811,486円	1,279,107円	0円	309,278円	0円	0円	168,772円
	③確定給与雇傭賃金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	④臨時雇用賃金（農作業標準労賃表による）	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	イ 労務費 計 (③~④)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	⑤作業委託費（ドローン航空防除+ソバ刈取料他）	331,800円									331,800円
	⑥小農具備品費（リースアップコンバイン）	0円									
	⑦動力燃料費	169,960円	150,964円		12,496円			6,500円			
	⑧減価償却費	251,537円	251,537円								
	⑨リース料	0円									
	⑩修繕費	316,960円	308,000円					8,960円			
	⑪租税公課	35,400円	35,400円								
	⑫支払地代	1,830,280円		175,830円	1,654,450円						
	⑬賃借料（組員農機具使用料：支払額÷1.1）	2,183,595円	109,636円	487,309円	1,080,486円		261,864円	86,818円	0円		157,482円
	⑭外部からの賃借料（農機格納庫、レンタル料等）	331,550円			104,000円	227,550円					
	⑭共済掛金（作物別）	136,144円		3,819円	132,325円						
	⑮共済掛金（共通）	72,799円	72,799円								
	⑯水利費（4,950円/反）	891,490円		101,400円	790,090円						
	⑰施設利用費（カントリー利用料他）	2,255,197円		34,274円	1,959,187円	207,825円		53,911円			
	⑱雑費	14,641円	14,636円					5円			
	⑱消耗品費	0円									
	ウ 生産経費 計 (⑤~⑱)	8,821,353円	942,972円	802,632円	5,733,034円	435,375円	261,864円	156,194円	0円	0円	489,282円
B	製造原価合計 (ア~ウ)	14,433,984円	942,972円	1,846,620円	8,544,520円	1,714,482円	261,864円	465,472円	0円	0円	658,054円
C	売上総利益 (A-B) : 売上総損失	-6,777,459円	-942,972円	5,117円	-5,551,366円	-763,797円	-261,864円	1,956,200円	0円	0円	-223,054円
	⑲支払手数料（税理士費用）	324,600円	324,600円								
	⑲支払手数料（その他）	1,300円		300円	700円						300円
	⑲販売手数料（JA：R3年度より販売費を分離）	986,056円		145,275円	636,567円	204,214円					
	⑲租税公課、諸会費	1,500円		1,500円					(2,000円)		
	⑲事務用消耗品費	0円									
	⑲雑費	0円									
D	販売・一般管理費計 (⑲~㉒)	1,313,456円	324,600円	147,075円	637,267円	204,214円	0円	0円	0円	0円	300円
E	費用合計 (B+D)	15,747,440円	1,267,572円	1,993,695円	9,181,787円	1,918,696円	261,864円	465,472円	0円	0円	658,354円
F	営業利益 (A-E) : 営業損失	-8,090,915円	-1,267,572円	-141,958円	-6,188,633円	-968,011円	-261,864円	960,477円	0円	0円	-223,354円
	畑作物の直接支払交付金（数量払）	3,150,022円	0円	0円	2,780,122円		0円	0円		369,900円	
	畑作物の直接支払い交付金（面積払い）2万円/10a	4,922,100円	0円		3,150,000円		1,152,000円		0円	0円	620,100円
	水田活用の直接支払：畑作物産地形成促進 4万円/10a	4,212,000円	0円	0円	1012,000円		0円	0円	0円	0円	

	総合	共通	水稻	小麦	大豆	大豆	黒豆	黒豆	ソバ	ソバ
					R4年産	R5年産	R4年産	R5年産	R4年産	R5年産
水田活用の直接支払：戦略作物助成 3.5万円/10a				1,823,500円						
水田フル活用助成金：加工用米3a分	0円									
団地加算交付金（4870円/10a）	451,972円	0円	0円	451,972円		0円	0円	0円	0円	
二毛作助成金（ソバ20,000円/10a）：3a分	0円									
二毛作助成金（県）（大豆、黒豆13,460円/10a）	609,206円				419,543円		189,663円			
二毛作助成金（県）（ソバ13,460円/10a）	429,473円							429,473円		
土壌改良（市）（大豆 2,300円/10a）	131,852円				131,852円					
二毛作助成金（市）（大豆、黒豆、ソバ2,000円/10a）	213,173円				86,105円		38,925円		88,143円	
大豆拡大加算	17,808円				17,808円					
環境保全型農業直接支払交付金	64,000円		64,000円							
水稻施設奨励金	5,025円		5,025円							
麦流通円滑化交付金	18,912円			18,912円						
黒豆奨励金	0円									
地域農業活性化支援金	0円									
肥料高騰支援金（国、県）	783,672円	783,672円								
肥料高騰支援金（JA）	57,321円	57,321円								
農業用燃油高騰支援金（市）	210,349円	210,349円								
令和3年度産米支援（JA）	7,227円		7,227円							
還付税額の精算	785,505円	785,505円								
その他2（組合農機貸付料他）	21,800円	21,800円								
a 雑収入1（補助金）	16,091,417円	1,858,647円	76,252円	12,436,506円	655,308円	1,152,000円	228,588円	0円	887,516円	620,100円
利息	301円	301円								
出資配当金	1,000円	1,000円								
過年度分の訂正	0円									
従事分量配当金にかかる消費税益	0円									
b 雑収入2（利息+地代）	1,301円	1,301円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
<b>G 営業外収益計（a+b）</b>	<b>17,916,218円</b>	<b>1,859,948円</b>	<b>76,252円</b>	<b>12,436,506円</b>	<b>655,308円</b>	<b>1,152,000円</b>	<b>228,588円</b>	<b>0円</b>	<b>887,516円</b>	<b>620,100円</b>
a 支払利息	716円	716円								
b 預かり金利息	0円	0円								
d 雑損失	0円	0円								
<b>H 営業外費用計（c+d）</b>	<b>716円</b>	<b>716円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>	<b>0円</b>
<b>I 経常利益（F+G-H）：営業外損益加算</b>	<b>9,824,587円</b>	<b>591,660円</b>	<b>-65,706円</b>	<b>6,247,873円</b>	<b>-312,703円</b>	<b>890,136円</b>	<b>1,189,065円</b>	<b>0円</b>	<b>887,516円</b>	<b>396,746円</b>
特別利益（経営基盤強化準備金取り崩し）	500,000円		0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
特別損失	0円									
役員報酬	0円									
<b>J 税引前当期利益（経常利益+特別損益）</b>	<b>10,322,587円</b>									
法人税、住民税及び事業税（計算式-219円：税理士整合）	307,248円									
<b>K 当期純利益</b>	<b>10,015,339円</b>									
前期繰越利益剰余金	131,764円									
<b>L 当期未処分利益剰余金</b>	<b>10,147,103円</b>									
M 利益準備金（10%）	1,050,000円		※天候、肥料費増で前年より悪化		※天候、肥料費増で前年より悪化					
			145,041円+-（R3年産米精算金）							
<b>O 従事分量配当計</b>	<b>9,000,000円</b>	<b>110,000円</b>	<b>394,584円</b>	<b>5,428,182円</b>	<b>0円</b>	<b>773,355円</b>	<b>1,033,065円</b>	<b>0円</b>	<b>771,078円</b>	<b>344,695円</b>
<b>P 次期繰越利益</b>	<b>97,103円</b>		※456,817円補填		※280,814円補填					

## 議・第3号 第10期事業年度（令和6年度）事業計画（案）について

今2024年(令和6年度)は、法人スタートから役員任期で言うと3年4期目の初年度となります。

世界中に蔓延して社会・経済活動に甚大な被害をもたらした新型コロナウイルスは、昨年5月に5類移行となりコロナ禍以前の社会生活、経済活動に戻りつつあります。しかしながら本年は、ロシアのウクライナへの侵攻、イスラエルとハマスの内戦、年末からの政界を揺るがす金に纏わる不祥事、新年を迎えたばかりの1月1日に発生した令和6年能登半島地震、翌日のJAL機と海保機の衝突事故等、年始めから暗いニュースばかりの出発となりました。

令和6年度の法人経営も、引き続き日本経済の低迷、円安と原油高による農業資材の高騰、米価の下落、担い手不足等、農業を取り巻く環境はなお一層厳しさを増すのではないかと考えます。

新たな事業展開も担い手不足、高齢化等があり難しいと考え、令和6年度も今日まで培ってきたものを糧として粛々として、経営・運営にあたってまいります。

- ① 年々不足する担い手不足から、米作においては一部を認定農業者さんをお願いをしております。当分の間は、法人と認定農業者さんと両立した農業経営の維持管理に努めてまいります。(人・農地プランで5年間互いに成長していくと誓約しています。)
- ② 野菜等の新しい作付けも検討しなければなりません。当分の間は昨年と同様の、コメ・麦・大豆(白・黒)・ソバを続けます。
- ③ 大型機械の導入は今後の生産組合のあり方を十分に考え対応をして参ります。
- ④ 農業資材の高騰により、肥料等の低コスト化も考える必要があると考え、検討材料といたします。
- ⑤ 米作は2年前から悪化しており、昨年と同様、作付け半分程度を小麦へ変更をしていくこととし、麦の国等からの補助金確保に努めます。
- ⑥ 今年度は生産組合の解散の手順も視野に入れ本格的に検討をしてまいります。
- ⑦ 竹町の田は竹町で守ることを前提として法人のあり方について(年貢の引き下げ検討含む)引き続き、検討してまいります。

その他についての方針は部門別で示させていただきます。

## 議・第4号 第10期事業年度（令和6年度）予算（案）について（総務部）

第10期（令和6年度）予算計画の栽培作物としましては、小麦、水稻、大豆、黒豆、ソバ、5品目となります。栽培面積は、水稻は6割減、小麦と麦跡作物の大豆、黒豆、ソバは小麦の50%転作に伴い拡大という事になります。

圃場別作付計画と栽培管理委託先については巻末の付表1～付表5を参照ください。

令和6年度予算計画

単位：千円

年 度	R6年度							R5年度
	総合	水稻	小麦	大豆 R5年産	大豆 R6年産	ソバ R5年産	ソバ R6年産	
経営面積	310反	32.6反	155.9反	57.6反	54.9反	47.8反	48.1反	305反
収穫量	—	12,714kg	63,000kg	8,640kg	—	3,365kg	3,365kg	—
売上	9,700	2,965	2,910	1,840	0	0	560	7,657
製造原価・管理費	15,830	3,240	9,004	2,281	249		660	14,434
営業利益	-7,570	-275	-6,094	-441	-249		-100	-8,090
補助金	17,090	76	12,315	1,133	1,098	818	624	17,916
経常利益	9,519	-199	6,221	692	848	818	524	8,825
従事分量配当	8,800	—	—	—	—	—	—	9,000

上表は、予算計画表の作物別主要指標を取り出したものですが、大豆、ソバにつきましては、事業年度をまたがりますので、年間通しての収支ではありません。

水稻の収穫量については6.5俵/10a、肥料・農薬等は昨年同等の価格を折り込み、資材高騰支援補助金は算入せずに計画を策定しております。

農業は天候次第とも言われ、地球温暖化の影響なのか令和5年度は水稻、大豆、ソバにおいて収穫量減となりました。来年度こそ、気候条件が従来通りに戻ることを願うばかりです。

### 【作物別の取り組み】

#### ◆小麦（転作部）

令和6年度も、水稻の収益が見込めないのので、転作率を昨年同様50パーセント程度まで拡大しております。具体的には1559アールの作付けとなりました。

肥料高騰が叫ばれるなかですが、施肥体系は田植前後の稼動を考慮し、昨年同様省力体系の肥料といたします。

また、今年は赤カビ防除をヘリコプターによる防除に変更します。経費はかかりますが、田植え時期と重複しますので、耕作者の負担を少しでも軽減することを考慮しました。

品質の良い麦を多く収穫するのは、一にも二にも排水対策です。当たり前のことですが、

- ① 暗きよの蓋が取れているかの再確認。
- ② 圃場の排水路が埋まっているかの再確認。

を今一度点検願います。また、今後の穂肥を確実に願います。

◆**水稻**（営農部）

令和6年産の作付品種については、みずかがみ・コシヒカリ・キヌヒカリ・ゆめおうみ・秋の詩の5品種の作付けとなります。

収量確保の為に特別栽培は(環境こだわり米)みずかがみのみとします

◆**ソバ**（船橋雄平班）

栽培面積および圃場は、大豆の面積及び圃場と調整しながら、400a～500aを予定する。

1) 元肥散布量および播種量については昨年を基準にする。

(元肥 11～12kg/10a . 播種量 5～6kg/10a)

2) 播種時期は大豆播種後に、天候をみながら盆前後に実施する。

3) 昨年のような水稻栽培圃場からの影響を避けられると予想している。

4) 作業は船橋雄平班が中心とするが、可能な限りの応援をお願いしたい。

◆**大豆**（荒川雅男班）

・次年度も大豆に取り組むとすると、麦刈取後の天候にもよるが土改系、元肥散布から額縁の片培土までは早めに仕上げ溝をつないで排水に努める。

・播種時期を6月末から7月上旬に設定し平起こし、播種を一気にやり切る。

・播種後、反1本くらいの溝を入れる。

・梅雨の見極めは難しいが一にも二にも排水が大事である。

(成育後半の雑草対策も考えるといいか)

広く人材を求め麦作と同じようなやり方ができないか検討する。

◆**黒豆**（荒川雅男班）

・6月末までの播種を基本としてやはり排水対策を徹底したい。

・初期の雑草は除草剤のおかげもありそれなりに抑制されるが中耕以降の雑草をいかに抑えるか、の方法を考えたい

・大豆と同じく成育後半の雑草対策を考える。

・圃場の排水に差が大きいため圃場の選別も大事な要素か。

## 議・第5号 任期満了に伴う役員改選について

農事組合法人竹町農業生産組合定款第26条によって、本日付で任期満了となる役員の改選を以下の通り提案致します。

理事：代表理事	北川 誠次（重任）
理事：副代表兼営農担当	奥田 徹（重任）
理事：総務担当	荒川 敏和（重任）
理事：管理担当	船橋 雄平（重任）
理事：転作担当	川橋 幸己（重任）
監事	荒川 雅男（重任）
監事	小西 信弘（重任）

尚、上記改選に伴い副部長を以下の通りとします。

副部長 東 純市（総務、転作担当）

副部長 中川 昭三（営農、管理担当）

付表1 小麦 令和6年度栽培管理作業委託先 農) 竹町農業生産組合 NO. 1

小字	地番	台帳面積	共済面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積	管理作業 委託先
中音城寺	690	1,474	14.6	澤田洋子	△	○	722.3	荒川雅男
中音城寺	691	2,303	22.9	仲川きぬ	△	○		
中音城寺	693	1,940	19.3	小西信弘	△	○		
亀月	894	2,828	28.1	中江義雄他	△	○		
亀月	898	3,224	32.0	船橋正和	△	○		
亀月	899	3,230	32.1	富田甚弘	△	○		
亀月	900	3,235	32.1	船橋雄平	△	○		
亀月	901	1,025	10.1	船橋雄平	△	○		
亀月	904	2,266	22.5	仲川保雄	△	○		
社裏	909	1,378	13.7	川橋好栄	△	○		
社裏	911-1	2,141	21.3	北川仙二	△	○		
社裏	911-3	55	0.5	北川仙二	△	○		
日向	918	2,012	20.0	荒川正晴	◆	○		
丸田	925	956	9.5	船橋清太郎	△	○		
丸田	926	2,098	20.8	船橋正和	△	○		
丸田	928	1,018	10.1	川橋袖子	△	○		
丸田	929	2,728	27.1	小川稔雄	△	○		
上荒木	936	1,378	13.7	船橋清太郎	△	○		
上荒木	937	876	8.7	仲川保雄	△	○		
上荒木	940	1,854	18.4	仲川きぬ	△	○		
上荒木	943	2,254	22.4	船橋雄平	△	○		
上荒木	946	1,576	15.6	大森正敏	◆	○		
上荒木	947	1,440	14.3	小川康子	◆	○		
上荒木	949	2,750	27.3	仲川保雄	△	○		
上荒木	950	2,802	27.8	荒川敏和	△	○		
上荒木	951	1,190	11.8	小川稔雄	△	○		
下荒木	958	2,374	23.6	荒川正晴	◆	○		
下荒木	959	2,475	24.6	仲川すえ子	◆	○		
下荒木	960	3,065	30.4	仲川きぬ	△	○		
下荒木	961	2,937	29.2	小川康子	△	○		
下荒木	965	1,545	15.3	仲川きぬ	△	○		
下荒木	967	2,128	21.1	富田甚弘	△	○		
下荒木	970-1	2,137	21.2	川橋袖子	△	○		
下荒木	970-2	63	0.6	川橋袖子	△	○		
下荒木	971	851	8.4	荒川雅男	◆	○		
下荒木	972	2,805	27.9	高岡久美子	◆	○		
下荒木	973-1	2,351	23.3	北川誠次	△	○		

小字	地番	共済面積	耕作面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積	管理作業 委託先
女夫輪	988	3,089	30.7	荒川雅男	◆	○	346.0	荒川雅男
女夫輪	989	3,135	31.1	船橋雄平	△	○		
女夫輪	990	3,109	30.9	富田甚弘	△	○		
女夫輪	991	3,080	30.6	高岡久美子	◆	○		
女夫輪	992	3,077	30.6	船橋正和	△	○		
女夫輪	993	3,037	30.2	小川康子	△	○		
女夫輪	994	3,277	32.6	中江義雄他	△	○		
大鹿	995	1,318	13.1	万里川平	△	○		
大鹿	996	1,051	10.4	荒川敏和	◆	○		
大鹿	997	1,412	14.0	荒川雅男	◆	○		
大鹿	998	1,710	17.0	北川誠次	△	○		
大鹿	999	1,609	16.0	川橋好栄	△	○		
草深	1021	1,717	17.0	澤田洋子	△	○		
草深	1022	1,377	13.7	仲川幸男	△	○		
草深	1026	920	9.1	船橋文雄	△	○		
草深	1027	1,914	19.0	荒川敏和	△	○		
畑中	736-1	2,904	28.8	奥田徹	○	○	185.6	奥田徹
丸田	930-1	2,136	21.2	川合小百合	○	○		
丸田	930-2	234	2.3	川合小百合	○	○		
下荒木	968	1,980	19.7	奥田徹	○	○		
下荒木	969	1,840	18.3	川合小百合	○	○		
草深	1023	3,221	32.0	奥田徹	○	○		
草深	1024	3,197	31.8	奥田徹	○	○		
草深	1025	3,171	31.5	川合小百合	○	○		
畑中	738-1	1,341	13.3	村田悦子	◆	○	227.9	仲川國男
亀月	895	2,676	26.6	仲川元治	◆	○		
亀月	902	2,201	21.8	仲川きぬ	◆	○		
亀月	903	3,277	32.6	仲川きぬ	◆	○		
社裏	910	1,614	16.0	村田悦子	◆	○		
丸田	927	1,746	17.3	仲川國男	◆	○		
上荒木	938	2,319	23.0	船橋清一	◆	○		
上荒木	941	1,577	15.6	村田悦子	◆	○		
上荒木	942	1,018	10.1	仲川國男	◆	○		
下荒木	962	2,975	29.6	富田甚弘	◆	○		
下荒木	963	2,521	25.0	船橋清一	◆	○		
亀月	896	1,158	11.5	船橋雄平	○	○	60.2	中川昭三
亀月	897	2,017	20.0	中川昭三	○	○		
上荒木	948	2,889	28.7	中川昭三	○	○		

小字	地番	共済面積	耕作面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積	管理作業 委託先
下荒木	966	709	7.0	川橋幸己	○	○	7.0	川橋幸己
日向	919	1,048	10.4	北川佐一	○	○	10.4	北川佐一
小麦栽培管理委託面積 合計							1559.4a	

付表2 水稻 令和6年度栽培管理作業委託先

農) 竹町農業生産組合

小字	地番	台帳面積	共済面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積 (a)	耕作者
宮前	882	415	4.1	川橋幸己	○	○	76.2	川橋幸己
宮前	883	796	7.9	万里川平	○	○		
北裏	1065	1,855	18.4	川橋幸己	○	○		
新替町	1529	1,174	11.6	川橋幸己	○	○		
新替町	1530	3,446	34.2	川橋幸己	○	○		
女夫輪	985	3,188	31.7	川合小百合	○	○	224.6	奥田徹
草深	1017	3,301	32.8	川合小百合	○	○		
畑ヶ中	1051	1,241	12.3	奥田徹	○	○		
畑ヶ中	1054	3,235	32.1	奥田徹	○	○		
北裏	1059	1,533	15.2	奥田徹	○	○		
北裏	1060	922	9.1	富田甚弘	○	○		
北裏	1064	2,007	19.9	川合小百合	○	○		
西裏	1087	2,929	29.1	北川佐一	○	○		
砂原	1099	941	9.3	小川善次	○	○		
前くぼ	1107	2,479	24.0	北川佐一	○	○		
前くぼ	1108	919	9.1	川合小百合	○	○		
前くぼ	1106	2,573	25.6	中川昭三	○	○	25.6	中川昭三
水稻栽培管理委託面積 合計							326.4	

付表3 農業生産組合管理の全圃場と管理作業委託先

単位 (a)

	管理作業委託先	小麦	水稻	大豆	黒豆	ソバ	合 計
1	荒川 雅男班	1068.3		548.9	182.3		1799.5
2	奥田 徹	185.6	224.6				410.2
3	仲川 國男	227.9					227.9
4	川橋 幸己	7.0	76.2				83.2
5	中川 昭三	60.2	25.6				85.8
7	北川 佐一	10.4					10.4
8	船橋 雄平班					480.7	480.7
9							
	合 計	1559.4	326.4	548.9	182.3	480.7	

付表4 竹町全圃場の作物別・管理者別区分

	中間管理機構 からの借受農地※	中間管理機構 未契約農地	合 計
水 稻	1,167.4 a	345.7 a	1513.1 a
小 麦	1,111.4a	448.0a	1,559.4a
合 計	2278.8 a	793.7 a	3072.5 a
構成比	74.2%	25.8%	100. 0%

※中間管理機構からの借受農地には認定農業者分も含む。

付表5 作物別管理区分

	法人管理	個人管理	総 計
水 稻	326.4 a	1186.7 a	1513.1 a
小 麦	1559.4 a	—	1559.4 a
大 豆	548.9 a	—	548.9 a
黒 豆	182.3 a	—	182.3 a
ソ バ	480.7 a	—	480.7 a
合 計	3097.7 a	1186.7 a	4284.4 a
構成比	72.3%	27.7%	100. 0%

付表6 部外秘 取扱注意 令和6年度竹町水田作付基本台帳 令和5年1月1日 No.1

※機構借地 ○：法人 △：個人

小字	地番	台帳面積 m <sup>2</sup>	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和5年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
白地地域	46-1	1,213	7.7	仲川國男	船橋紀雄	◆	△	7.7				
白地地域	352	373	3.7	荒川雅男	船橋雄平	△	△	3.7				
亀月	894	2,828	28.1	荒川雅男	中江義雄他	△	○		28.1			
亀月	895	2,676	26.6	仲川國男	仲川元治	◆	○		26.6			
亀月	896	1,158	11.5	中川昭三	船橋雄平	○	○		11.5			11.5
亀月	897	2,017	20.0	中川昭三	中川昭三	○	○		20.0			20.0
亀月	898	3,224	32.0	荒川雅男	船橋正和	△	○		32.0			32.0
亀月	899	3,230	32.1	荒川雅男	富田甚弘	△	○		32.1			32.1
亀月	900	3,235	32.1	荒川雅男	船橋雄平	△	○		32.1			32.1
亀月	901	1,025	10.1	荒川雅男	船橋雄平	△	○		10.1			10.1
亀月	902	2,201	21.8	仲川國男	仲川きぬ	◆	○		21.8			21.8
亀月	903	3,277	32.6	仲川國男	仲川きぬ	◆	○		32.6			32.6
亀月	904	2,266	22.5	荒川雅男	仲川保雄	△	○		22.5			22.5
社裏	909	1,378	13.7	荒川雅男	川橋好栄	△	○		13.7			
社裏	910	1,614	16.0	仲川國男	村田悦子	◆	○		16.0			
社裏	911-1	2,141	21.3	荒川雅男	北川仙二	△	○		21.3			
社裏	911-3	55	0.5	荒川雅男	北川仙二	△	○		0.5			
日向	918	2,012	20.0	荒川雅男	荒川正晴	◆	○		20.0			
日向	919	1,048	10.4	北川佐一	北川佐一	○	○		10.4			
丸田	925	956	9.5	荒川雅男	船橋清太郎	△	○		9.5	9.5		
丸田	926	2,098	20.8	荒川雅男	船橋正和	△	○		20.8	20.8		
丸田	927	1,746	17.3	仲川國男	仲川國男	◆	○		14.3			
丸田	928	1,018	10.1	荒川雅男	川橋袖子	△	○		10.1			
丸田	929	2,728	27.1	荒川雅男	小川稔雄	△	○		27.1			
丸田	930-1	2,136	21.2	奥田徹	川合小百合	○	○		21.2			
丸田	930-2	234	2.3	奥田徹	川合小百合	○	○		2.3			
上荒木	936	1,378	13.7	荒川雅男	船橋清太郎	△	○		13.7			13.7
上荒木	937	876	8.7	荒川雅男	仲川保雄	△	○		8.7			8.7
上荒木	938	2,319	23.0	仲川國男	船橋清一	◆	○		23.0			23.0
上荒木	940	1,854	18.4	荒川雅男	仲川きぬ	△	○		18.4			18.4
上荒木	941	1,577	15.6	仲川國男	村田悦子	◆	○		15.6			15.6
上荒木	942	1,018	10.1	仲川國男	仲川國男	◆	○		10.1			10.1
上荒木	943	2,254	22.4	荒川雅男	船橋雄平	△	○		22.4			22.4
上荒木	946	1,576	15.6	荒川雅男	大森正敏	◆	○		15.6		15.6	
上荒木	947	1,440	14.3	荒川雅男	小川康子	◆	○		14.3		14.3	
上荒木	948	2,889	28.7	中川昭三	中川昭三	○	○		28.7		28.7	
上荒木	949	2,750	27.3	荒川雅男	仲川保雄	△	○		27.3		27.3	
上荒木	950	2,802	27.8	荒川雅男	荒川敏和	△	○		27.8		27.8	

## No.2

小字	地番	台帳面積 m <sup>2</sup>	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和5年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
上荒木	951	1,190	11.8	荒川雅男	小川稔雄	△	○		11.8		11.8	
下荒木	958	2,374	23.6	荒川雅男	荒川正晴	◆	○		23.6	23.6		
下荒木	959	2,475	24.6	荒川雅男	仲川すえ子	◆	○		24.6	24.6		
下荒木	960	3,065	30.4	荒川雅男	仲川きぬ	△	○		30.4	30.4		
下荒木	961	2,937	29.2	荒川雅男	小川康子	△	○		29.2	29.2		
下荒木	962	2,975	29.6	仲川國男	富田甚弘	◆	○		29.6	29.6		
下荒木	963	2,521	25.0	仲川國男	船橋清一	◆	○		25.0	25.0		
下荒木	965	1,545	15.3	荒川雅男	仲川きぬ	△	○		15.3	15.3		
下荒木	966	709	7.0	川橋幸己	川橋幸己	○	○		7.0	7.0		
下荒木	967	2,128	21.1	荒川雅男	富田甚弘	△	○		21.1	21.1		
下荒木	968	1,980	19.7	奥田徹	奥田徹	○	○		19.7	19.7		
下荒木	969	1,840	18.3	奥田徹	川合小百合	○	○		18.3	18.3		
下荒木	970-1	2,137	21.2	荒川雅男	川橋袖子	△	○		21.2	21.2		
下荒木	970-2	63	0.6	荒川雅男	川橋袖子	△	○		0.6	0.6		
下荒木	971	851	8.4	荒川雅男	荒川雅男	◆	○		8.4	8.4		
下荒木	972	2,805	27.9	荒川雅男	高岡久美子	◆	○		27.9	27.9		
下荒木	973-1	2,351	23.3	荒川雅男	北川誠次	△	○		23.3			
女夫輪	982	3,100	30.8	荒川雅男	栗田美由紀	△	△	30.8				
女夫輪	983	3,229	32.1	荒川雅男	川橋一明	△	△	32.1				
女夫輪	984	3,216	31.9	荒川雅男	仲川保雄	△	△	31.9				
女夫輪	985	3,188	31.7	奥田徹	川合小百合	○	○	31.7				
女夫輪	987	1,225	12.1	荒川雅男	大森正敏	◆	△	12.1				
女夫輪	988	3,089	30.7	荒川雅男	荒川雅男	◆	○		30.7	30.7		
女夫輪	989	3,135	31.1	荒川雅男	船橋雄平	△	○		31.1	31.1		
女夫輪	990	3,109	30.9	荒川雅男	富田甚弘	△	○		30.9	30.9		
女夫輪	991	3,080	30.6	荒川雅男	高岡久美子	◆	○		30.6	30.6		
女夫輪	992	3,077	30.6	荒川雅男	船橋正和	△	○		30.6	30.6		
女夫輪	993	3,037	30.2	荒川雅男	小川康子	△	○		30.2	30.2		
女夫輪	994	3,277	32.6	荒川雅男	中江義雄他	△	○		32.6	32.6		
草深	1011	1,938	19.2	荒川雅男	奥正信	△	△	19.2				
草深	1012	1,643	16.3	荒川雅男	奥正信	△	△	16.3				
草深	1013	3,361	33.4	荒川雅男	仲川保雄	△	△	33.4				
草深	1014	3,340	33.2	荒川雅男	北川誠次	△	△	33.2				
草深	1015	1,629	16.2	荒川雅男	仲川きぬ	◆	△	16.2				
草深	1016	1,700	16.9	荒川雅男	小川富造	△	△	16.9				
草深	1017	3,301	32.8	奥田徹	川合小百合	○	○	32.8				
草深	1018	3,289	32.7	荒川雅男	大森正敏	◆	△	32.7				
草深	1020-1	2,842	28.2	荒川雅男	東純市	△	△	28.2				

No.3

小字	地番	台帳面積 m <sup>2</sup>	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和5年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
草深	1021	1,717	17.0	荒川雅男	澤田洋子	△	○		17.0			17.0
草深	1022	1,377	13.7	荒川雅男	仲川幸男	△	○		13.7			13.7
草深	1023	3,221	32.0	奥田徹	奥田徹	○	○		32.0			32.0
草深	1024	3,197	31.8	奥田徹	奥田徹	○	○		31.8			31.8
草深	1025	3,171	31.5	奥田徹	川合小百合	○	○		31.5			31.5
草深	1026	920	9.1	荒川雅男	船橋文雄	△	○		9.1			9.1
草深	1027	1,914	19.0	荒川雅男	荒川敏和	△	○		19.0			19.0
野瀬	1038-1	1,719	17.1	荒川雅男	船橋康秀	△	△	17.1				
野瀬	1040	3,107	30.9	荒川雅男	川橋袖子	△	△	30.9				
野瀬	1041	3,121	31.0	荒川雅男	小西信昭	△	△	31.0				
野瀬	1042	3,113	30.9	荒川雅男	小川稔雄	△	△	30.9				
野瀬	1043	1,853	18.4	荒川雅男	富田甚弘	△	△	18.4				
野瀬	1044	1,309	13.0	荒川雅男	小川富造	△	△	13.0				
野瀬	1045	3,141	31.2	荒川雅男	栗田美由紀	△	△	31.2				
野瀬	1046	3,047	30.3	荒川雅男	北川佐一	△	△	30.3				
畑ヶ中	1050	2,165	21.5	荒川雅男	高岡久美子	◆	△	21.5				
畑ヶ中	1051	1,241	12.3	奥田徹	奥田徹	○	○	12.3				
畑ヶ中	1052	3,238	32.2	荒川雅男	仲川幸男	◆	△	32.2				
畑ヶ中	1053	3,237	32.2	荒川雅男	大森正敏	◆	△	32.2				
畑ヶ中	1054	3,235	32.1	奥田徹	奥田徹	○	○	32.1				
畑ヶ中	1055	2,950	29.3	荒川雅男	万里川平	△	△	29.3				
北裏	1059	1,533	15.2	奥田徹	奥田徹	○	○	15.2				
北裏	1060	922	9.1	奥田徹	富田甚弘	○	○	9.1				
北裏	1061	1,970	19.6	荒川雅男	高岡久美子	△	△	19.6				
北裏	1062	512	5.0	荒川雅男	小川善次	△	△	5.0				
北裏	1063	2,240	22.2	荒川雅男	澤田洋子	◆	△	22.2				
北裏	1064	2,007	19.9	奥田徹	川合小百合	○	○	19.9				
北裏	1065	1,855	18.4	川橋幸己	川橋幸己	○	○	18.4				
拘込	1070	1,986	19.7	荒川雅男	川橋袖子	△	△	19.7				
拘込	1071-1	1,307	13.0	川橋袖子	川橋袖子	△	△					
拘込	1071-2	1,092	10.8	荒川雅男	川橋袖子	△	△	10.8				
拘込	1073	288	2.8	荒川雅男	仲川元治	△	△	2.8				
拘込	1074	1,667	16.5	荒川雅男	栗田美由紀	△	△	16.5				
拘込	1075	472	4.6	荒川雅男	東純市	△	△	4.6				
拘込	1076	1,623	16.1	荒川雅男	北川佐一	△	△	16.1				
拘込	1077	2,048	20.3	荒川雅男	川橋一明	△	△	20.3				
西裏	1084	922	9.1	荒川雅男	東純市	△	△	9.1				
西裏	1085	1,778	17.6	荒川雅男	船橋清太郎	△	△	17.6				
西裏	1086	2,695	26.8	荒川雅男	船橋清太郎	△	△	26.8				

小字	地番	台帳面積 m <sup>2</sup>	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和5年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
西裏	1087	2,929	29.1	奥田徹	北川佐一	○	○	29.1				
砂原	1095	2,264	22.5	荒川雅男	万里川平	△	△	22.5				
砂原	1096	579	5.7	荒川雅男	万里川平	△	△	5.7				
砂原	1097	1,698	16.8	荒川雅男	北川誠次	△	△	16.8				
砂原	1098	1,893	18.8	仲川國男	仲川國男	◆	△	18.8				
砂原	1099	941	9.3	奥田徹	小川善次	○	○	9.3				
前くぼ	1103	1,466	14.5	荒川雅男	荒川雅男	◆	△	14.5				
前くぼ	1104	2,579	25.6	荒川雅男	仲川きぬ	◆	△	25.6				
前くぼ	1105	2,584	25.7	荒川雅男	澤田洋子	◆	△	25.7				
前くぼ	1106	2,573	25.6	中川昭三	中川昭三	○	○	25.6				
前くぼ	1107	2,479	24.0	奥田徹	北川佐一	○	○	24.0				
前くぼ	1108	919	9.1	奥田徹	川合小百合	○	○	9.1				
前くぼ	1109-1	773	7.6	荒川雅男	荒川美智子	◆	△	7.6				
前くぼ	1109-2	700	6.9	荒川雅男	荒川美智子	◆	△	6.9				
古川尻	1118	1,469	14.6	荒川雅男	小西信昭	△	△	14.6				
古川尻	1119	868	8.6	荒川雅男	万里川平	△	△	8.6				
古川尻	1120	1,394	13.8	荒川雅男	仲川保雄	△	△	13.8				
古川尻	1121	947	9.4	荒川雅男	大森正敏	◆	△	9.4				
古川尻	1122	2,335	23.2	仲川國男	船橋清一	◆	△	23.2				
古川尻	1123	2,250	22.3	荒川雅男	船橋康秀	△	△	22.3				
古川尻	1124	1,249	12.4	荒川雅男	荒川雅男	◆	△	12.4				
西畑	1131	1,004	9.9	荒川雅男	荒川正晴	◆	△	9.9				
御屋敷	1146	2,150	21.3	荒川雅男	仲川幸男	△	△	21.3				
クルス	1153	2,420	24.0	荒川雅男	小川康子	△	△	24.0				
クルス	1155	1,798	17.8	荒川雅男	小川康子	△	△	17.8				
中音城寺	690	1,474	14.6	荒川雅男	澤田洋子	△	○		14.6		14.6	
中音城寺	691	2,303	22.9	荒川雅男	仲川きぬ	△	○		22.9		22.9	
中音城寺	693	1,940	19.3	荒川雅男	小西信弘	△	○		19.3		19.3	
畑中	736-1	2,904	28.8	奥田徹	奥田徹	○	○	28.8				
畑中	738-1	1,341	13.3	仲川國男	村田悦子	◆	○		13.3			
宮前	882	415	4.1	川橋幸己	川橋幸己	○	○	4.1				
宮前	883	796	7.9	川橋幸己	万里川平	○	○	7.9				
宮前	884	419	4.1	荒川雅男	船橋文雄	△	△	4.1				
宮前	885	380	3.7	仲川國男	村田悦子	◆	△	3.7				
大鹿	995	1,318	13.1	荒川雅男	万里川平	△	○		13.1			
大鹿	996	1,051	10.4	荒川雅男	荒川敏和	◆	○		10.4			
大鹿	997	1,412	14.0	荒川雅男	荒川雅男	◆	○		14.0			
大鹿	998	1,710	17.0	荒川雅男	北川誠次	△	○		17.0			

小字	地番	台帳面積 ㎡	共済面積 a	耕作者	所有者	機構 借地	法人 管理	令和5年度栽培面積 (a)					
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ	
大鹿	999	1,609	16.0	荒川雅男	川橋好栄	△	○		16.0				
新替町	1524	1,131	11.2	荒川雅男	仲川元治	◆	△	11.2					
新替町	1525	1,130	11.2	荒川雅男	川橋袖子	△	△	11.2					
新替町	1526	177	1.7	荒川雅男	川橋袖子	△	△	1.7					
新替町	1528	1,001	9.9	荒川雅男	川橋袖子	△	△	9.9					
新替町	1529	1,174	11.6	川橋幸己	川橋幸己	○	○	11.6					
新替町	1530	3,446	34.2	川橋幸己	川橋幸己	○	○	34.2					
作物別栽培面積 合計 (a)								1513.1	1559.4	548.9	182.3	480.7	